

スリランカのお茶事情について③

<ミルクティー（キリター）とスーパーマーケット>

31 期 小島 夕佳

今回は紅茶の国、スリランカよりスリランカ式ミルクティーとスーパーマーケットについてご紹介いたします。

スリランカ式ミルクティーについて

スリランカのミルクティーはシンハラ語でキリターと呼ばれています。シンハラ語でキリがミルクでテは紅茶を意味しています。

フレッシュミルクを使用するときもありますが、スリランカで主流なのは、粉ミルクを使って作ります。

特徴は、粉ミルクと砂糖を使い、高い位置から紅茶を注ぎ込むことで泡立てて作るのですが、高い位置から何度も注ぐことで、空気を含ませて泡立てる為、まろやかで濃厚な味わいが楽しめます。

まず、スリランカ式ミルクティー、キリターを作るにあたり、粉ミルクが必要になりますが、粉ミルクはスーパーマーケットで簡単に見つけることができます。

スリランカのスーパーについて

コロンボ市内には沢山のスーパーマーケットがあります。その中でもスリランカ国内では Keels、Cargills がすぐに見つけることができる二大大型チェーンスーパーマーケットです。また、コロンボ市内にある Arpico スーパーマーケットは日用品なども豊富に取り揃えている大型店舗の為、コロンボを訪れた方は利用することがあるかと思います。Keels、Cargills は場所により店舗の大きさや品揃えも異なるため、時間が限られた

中で旅行している方は品揃えも豊富なコロombo市内の Arpico に来ることが多くなります。

Arpico 店内には紅茶も種類が豊富にあります。日本でもおなじみの Dilma Teaをはじめ、日本ではあまり見かけない Zesta Tea やその他のブランドも多数取り扱っている為、紅茶好きには楽しめる空間となっています。



スリランカのスーパーと日本のスーパーの違いは粉ミルクコーナーが非常に豊富になっている点かと思います。さまざまな会社から粉ミルクが販売されており、どれにしたらいいのか迷ってしまいます。

中には少し溶けにくいものもありますが、人気なのは Anchor、Maliban、Diamond など、個人の親しい方々からきくと、日本人駐在員の方は Diamond を、スリランカ人は Anchor を購入することが多いそうです。



紅茶を選ぶのと同様に、茶葉と粉ミルクを様々な種類の中から選ぶのもスリランカ式ミルクティー、キリティーを作る1つの楽しみとなります。

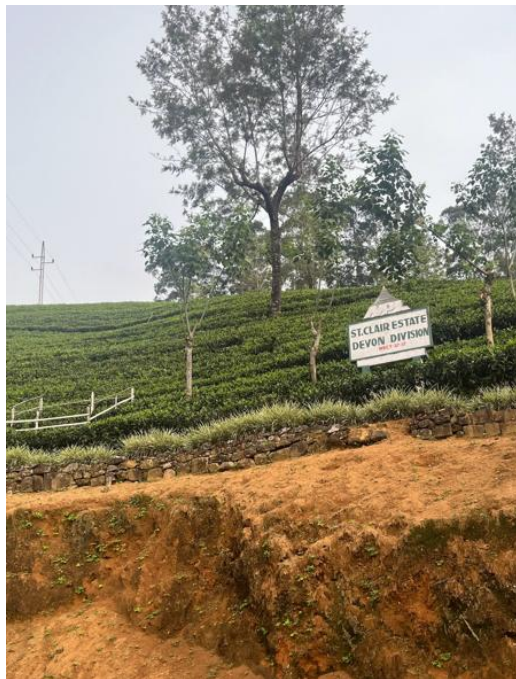




また、コロombo市内の Arpico には St. Clairs Tea のブースがあり、茶葉の形状や色味などを見ることができます。

余談になりますが、Arpico スーパーマーケットはリチャード・ピエリス（Richard Pieris）会社のスーパーマーケットブランドとなり、リチャード・ピエリス会社は Maskeliya Tea Gardens Ceylon という紅茶マーケティング部門を持ち、その中に St. Clairs Tea は含まれています。St. Clair's Tea、Maskeliya Tea、Lak Kahata、Padamata Kahata という顧客層に合わせた4つの紅茶ブランドを展開し、それぞれスーパーで目にすることができます。外装も、味も良い St. Clair's Tea が日本へのお土産にもおすすめです。

ちなみに、ヌワラエリヤから 20Km 程コロombo方面に向かった帰路で、たまたま St. Clair's の茶園を目にし、茶園近辺では Arpico のサインもたっていました。



今回、スリランカのミルクティー（キリター）とスーパーマーケットについてご紹介させて頂きましたが、スリランカにお越し頂く際の参考になれば幸いです。